



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社キューブ 上場取引所 東
 コード番号 7112 URL <http://www.cube-co.com/>
 代表者（役職名） 代表取締役会長兼社長（氏名） 松村 智明
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CF0（氏名） 福岡 裕太（TEL）03-6427-0791
 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第1四半期の業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,111	△2.2	△43	—	△47	—	△39	—
2025年12月期第1四半期	1,136	△7.2	0	△98.9	0	△99.8	△10	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△6.46	—
2025年12月期第1四半期	△1.68	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	4,716	4,002	84.9
2025年12月期	4,611	4,042	87.7

（参考）自己資本 2026年12月期第1四半期 4,002百万円 2025年12月期 4,042百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,965	2.1	115	93.8	120	87.5	66	89.4	10.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 1 Q	6,139,647株	2025年12月期	6,139,647株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	15,733株	2025年12月期	29株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 1 Q	6,138,745株	2025年12月期 1 Q	6,087,575株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期累計期間(2026年1月1日～3月31日)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移し、国内景気は緩やかな回復傾向が続いております。その一方で、海外情勢の混迷が深まり不安定な状態も続き、依然として先行きが見通せない状況が続いております。

当社の属する衣料品販売業界においても、原材料費やエネルギー価格の高止まり、円安や人手不足等、厳しい経営環境が続いており、日本国内においては慎重な購買行動が続いている状況にあります。

このような状況の中、当社はオンライン・オフラインの双方から、国内外における販売強化に努めてまいりました。

これらの結果として、当第1四半期累計期間における売上高は1,111,671千円(前年同期比2.2%減)となり、営業損失は43,374千円(前年同四半期営業利益は486千円)、経常損失は47,758千円(前年同四半期経常利益は65千円)、四半期純損失は39,639千円(前年同四半期純損失は10,254千円)となりました。

なお、当社は衣料品等の企画販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

特に重要な指標の内容は以下のとおりであります。

(売上高)

当第1四半期累計期間の売上高は1,111,671千円(前年同期比2.2%減)となりました。前事業年度に引き続き、デジタル化の推進と海外展開の拡大に向けて、オフライン・オンラインの販売チャネルの融合、新規店舗の出店も含めた集客・販売力の強化を図り、国内リテール、国内EC、及び海外ECにおいて売上の拡大に努めております。また、韓国卸、中国卸、海外卸、及び国内卸の各卸においても、特に海外における新規取引先の獲得等を進め、売上の拡大を図っております。

当社の事業区分別の内訳は、次のとおりであります。

相手先	第32期事業年度 第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)		第33期事業年度 第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
国内リテール	423,561	37.3	494,423	44.5
国内EC	188,830	16.6	171,520	15.4
海外EC	27,068	2.4	16,349	1.5
韓国卸	358,819	31.6	274,387	24.7
中国卸	—	—	54,807	4.9
海外卸	57,354	5.0	39,247	3.5
国内卸	82,481	7.3	64,324	5.8
その他	△1,403	△0.1	△3,389	△0.3

(売上総利益及び営業利益)

当第1四半期累計期間の売上原価は421,935千円(前年同期比7.5%減)となりました。原価目標を設定した売上原価率の低減を徹底した結果、当第1四半期累計期間は売上原価率38.0%となっております。この結果、当第1四半期累計期間の売上総利益は689,736千円(前年同期比1.3%増)となり、売上総利益率は62.0%となっております。また、当第1四半期累計期間の販売費及び一般管理費は733,111千円(前年同期比7.8%増)となりました。中長期的な成長に向け投資を行う中で、業容拡大に向け全社で人材採用を強化した結果として採用活動経費等の業務委託費用、給料手当が増加し、新規店舗の出店に伴い地代家賃及び減価償却費等が増加傾向にあります。この結果、当第1四半期累計期間の営業損失は43,374千円(前年同四半期営業利益は486千円)となりました。

また、上記指標の計画達成に向けて、事業運営上重要と考えている重要指標として、今後の事業拡大の主たる部分について、海外売上高、及びEC売上高を含むD2C売上高の増加を想定していることから、海外売上高比率、D2C比率及びEC化率の上昇に取り組んでおりますが、当第1四半期累計期間の状況は以下のとおりであります。

	第32期事業年度 第1四半期累計期間	第33期事業年度 第1四半期累計期間
海外売上高比率(%)	39.0	34.6
D2C比率(%)	56.3	61.4
EC化率(%)	19.0	16.9

- (注) 1. 海外売上高比率 = (海外EC売上高 + 韓国卸売上高 + 中国卸売上高 + 海外卸売上高) ÷ 売上高
 2. D2C比率 = (国内リテール売上高 + 国内EC売上高 + 海外EC売上高) ÷ 売上高
 3. EC化率 = (国内EC売上高 + 海外EC売上高) ÷ 売上高

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は4,716,765千円となり、前事業年度末に比べ105,275千円(2.3%)増加いたしました。

流動資産は、前事業年度末に比べ82,117千円(2.5%)増加し、3,340,793千円となりました。これは主に、上半期シーズン向けの商品仕入が増加したことに伴い、商品が272,782千円(60.1%)増加、その他に含まれる未収消費税が48,207千円増加した一方で、商品仕入に係る支払が増加していること等により、現金及び預金が194,841千円(9.2%)減少したこと等によるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比べ23,158千円(1.7%)増加し、1,375,971千円となりました。これは主に、各店舗にて使用するシステム導入に伴い工具、器具及び備品が321千円(4.4%)増加、基幹システムの入れ替えに伴う開発投資の進捗により、ソフトウェア仮勘定が32,085千円(85.3%)増加した一方で、店舗等の固定資産の減価償却費の計上に伴い建物及び構築物が11,765千円(2.9%)減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は713,965千円となり、前事業年度末に比べ144,914千円(25.5%)増加いたしました。

流動負債の残高は、前事業年度末に比べ146,174千円(36.1%)増加し、551,446千円となりました。これは主に、前事業年度末に比べて四半期決算月における仕入が増加したことに伴い買掛金が125,148千円(137.6%)増加、また、基幹システムの入れ替えに伴う投資の進捗により、関連する支払債務が増加したことに伴い、その他に含まれる未払金が増加したこと等によるものであります。

固定負債の残高は、前事業年度末に比べ1,259千円(0.8%)減少し、162,518千円となりました。これは主に、MARKET STORE BY MARK&LONAふかや花園プレミアム・アウトレットの開店に伴い、資産除去債務が4,401千円(3.1%)増加したものの、保証金の一部返金により、その他に含まれる預り保証金が減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産の残高は4,002,799千円となり、前事業年度末に比べ39,639千円(1.0%)減少いたしました。これは、四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における自己資本比率は、84.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年2月16日に「2025年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,111,281	1,916,439
受取手形及び売掛金	464,369	423,938
商品	453,608	726,390
その他	229,569	274,148
貸倒引当金	△151	△123
流動資産合計	3,258,676	3,340,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	402,265	390,499
工具、器具及び備品(純額)	7,342	7,664
有形固定資産合計	409,607	398,164
無形固定資産		
ソフトウェア	21,412	19,487
ソフトウェア仮勘定	37,631	69,716
無形固定資産合計	59,043	89,204
投資その他の資産		
関係会社株式	295,480	295,480
敷金及び保証金	253,118	253,118
破産更生債権等	527	527
繰延税金資産	157,733	169,243
その他	177,829	170,760
貸倒引当金	△527	△527
投資その他の資産合計	884,161	888,602
固定資産合計	1,352,812	1,375,971
資産合計	4,611,489	4,716,765

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	90,982	216,131
契約負債	113,854	118,401
商品保証引当金	487	390
賞与引当金	—	12,243
資産除去債務	5,137	5,147
その他	194,808	199,132
流動負債合計	405,271	551,446
固定負債		
退職給付引当金	14,880	14,220
資産除去債務	142,553	146,954
その他	6,345	1,344
固定負債合計	163,778	162,518
負債合計	569,050	713,965
純資産の部		
株主資本		
資本金	841,303	841,303
資本剰余金	1,561,630	1,561,630
利益剰余金	1,639,530	1,599,891
自己株式	△25	△25
株主資本合計	4,042,438	4,002,799
純資産合計	4,042,438	4,002,799
負債純資産合計	4,611,489	4,716,765

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,136,712	1,111,671
売上原価	456,011	421,935
売上総利益	680,701	689,736
販売費及び一般管理費	680,215	733,111
営業利益又は営業損失(△)	486	△43,374
営業外収益		
受取利息	1,285	1,132
為替差益	—	257
受取補償金	—	2,000
その他	130	559
営業外収益合計	1,416	3,949
営業外費用		
為替差損	1,837	—
譲渡制限付株式関連費用	—	8,333
営業外費用合計	1,837	8,333
経常利益又は経常損失(△)	65	△47,758
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	65	△47,758
法人税、住民税及び事業税	2,889	3,390
法人税等調整額	7,429	△11,509
法人税等合計	10,319	△8,119
四半期純損失(△)	△10,254	△39,639

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

当社は、衣料品等の企画販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

当社は、衣料品等の企画販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	27,133千円	38,524千円